

フィデューシャリー・デューティー宣言への 取組状況

2024年7月

目次

1. お客さまに寄りそった資産形成・運用の支援	P2
(1) お客さまに寄り添った資産形成・運用のために	P2
(2) お客さまに寄り添った資産形成・運用のための取組み	P2
2. 最適な投資型商品の提供	P3～P4
3. お客さまへの情報提供	P5～P6
(1) お一人おひとりにあわせたわかりやすい説明	P5
(2) 手数料に関する考え方	P6
(3) アフターフォローに関する考え方	P6
(4) 金融教育	P6
4. 利益相反の適切な管理	P7
5. お客さまの満足度を優先する態勢の整備	P8～P9
6. 人材の育成・確保	P10
7. お客さまの運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI	P11～18
【参考】顧客本位の業務運営に関する原則と取組状況の対応関係	P19

1. お客さまに寄りそった資産形成・運用の支援

原則2・5・6

(1) お客さまに寄りそった資産形成・運用の支援のために

- コンコルディア・フィナンシャルグループは、経営理念に「お客さまの豊かな人生」に貢献することを掲げ、「地域に根ざし、ともに歩む存在として選ばれるソリューション・カンパニー」を長期的にめざす姿としています。この経営理念と長期的にめざす姿に基づき、すべての役職員が共有すべき価値観・行動指針の一つに「お客さま本位」を定めています。
- 当グループは、お客さま本位の業務運営への取り組みとして、「フィデューシャリー・デューティー宣言」を策定・公表しており、お客さまの資産形成・運用にかかる業務について、真にお客さまのために行動することを宣言しています。
- 神奈川銀行では、宣言に基づいた取組方針を掲げ、お客さま本位の資産運用提案に取り組んでいます。お客さま本位の資産運用提案の成果に関する指標として、比較可能なKPIを公表しています。

[「フィデューシャリー・デューティー宣言」の詳細は、こちらをご覧ください。](#)

(2) お客さまに寄りそった資産形成・運用の支援のための取組み

- 神奈川銀行では、お客さまのお考えを丁寧にお伺いすることなどにより、お客さまと運用の目的を共有し、お客さまと寄りそい、お客さまのライフプラン等を踏まえ、資産形成・運用の支援をしています。
- お客さまとの対話を重ねながら、お客さまにとって最適な資産形成・運用の支援をおこなっています。

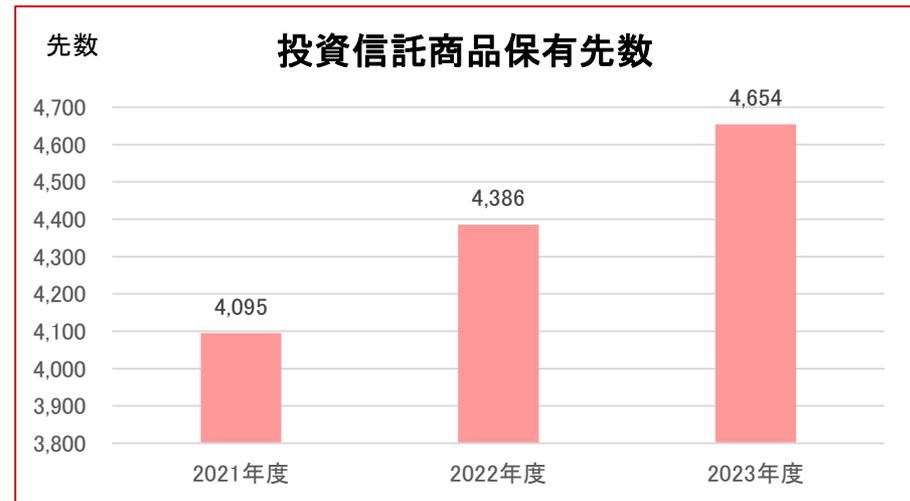
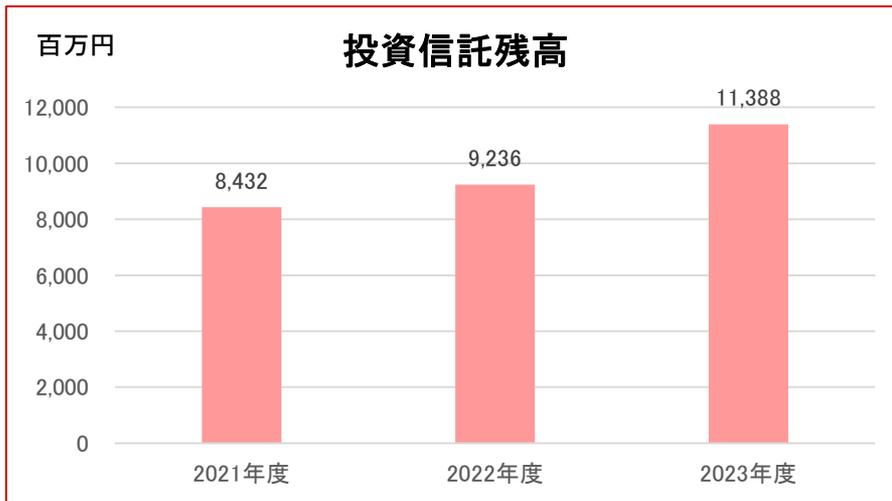
2. 最適な投資型商品の提供

原則2・5・6

- お客様の投資目的やリスクの対するお考えに合わせ豊富な商品を取り扱っております。
- 商品の選定にあたっては、経済環境や市場動向を踏まえて、グループ会社の商品に関係なく、幅広い運用会社や保険会社等が取り扱う商品の中から、お客様のニーズに沿った商品を取り揃えています。なお、当行は金融商品の組成には携わっておりません。

投資信託残高および投資信託商品保有先数

- 投資信託残高は、株式相場のコロナ禍からの回復や、2024年1月から開始された新NISAに対応した商品の導入など、お客様の資産形成ニーズに対応した結果、販売状況が好調に推移したことなどにより、着実に増加しています。
- 投資信託の商品保有先数につきましても、新NISA制度のスタートによる証券口座の新規開設も追い風となり、着実に増加しています。今後も長期的なお客さまの資産形成に向け、積極的に取り組んでまいります。

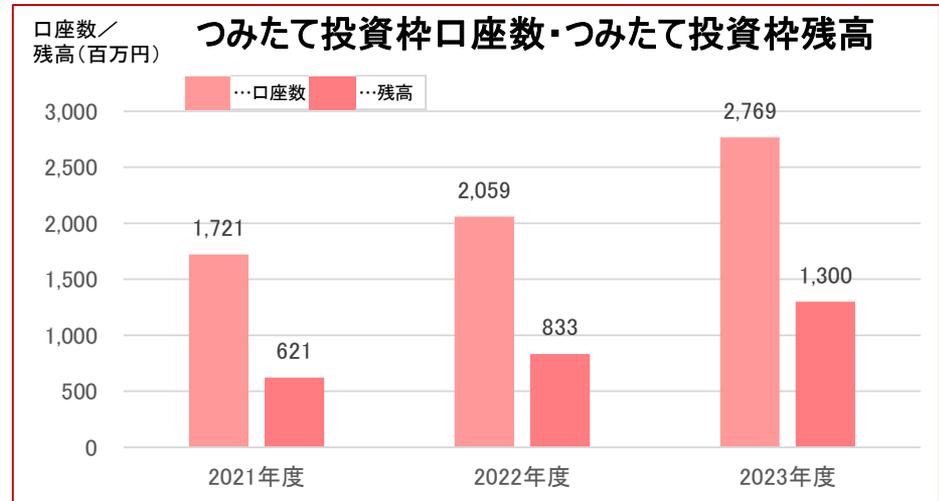
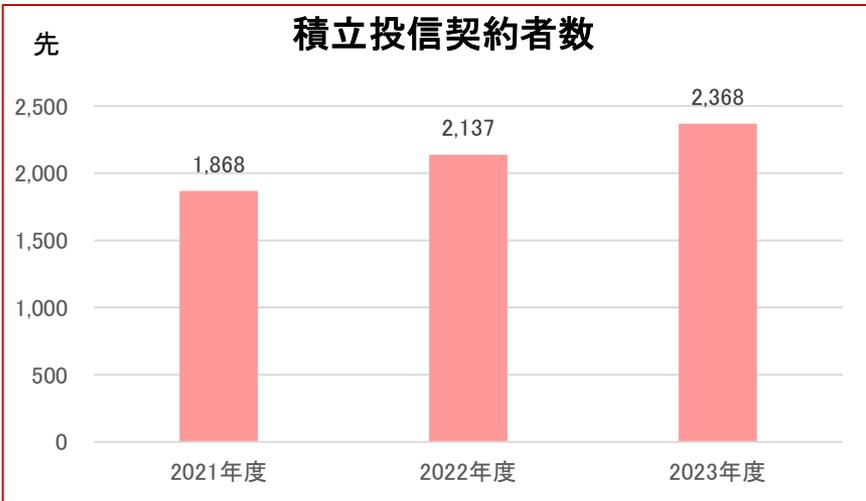


2. 最適な投資型商品の提供

原則2・5・6

積立投信契約者数およびつみたて投資枠口座数・つみたて投資枠残高

- 積立投信利用先数についても、通常の積立投信の利用に加え、2024年1月にスタートした新NISA制度の中で、「つみたて投資枠」を利用した積立投信を開始されるお客さまからの申し込みが後押しとなり、着実に増加しています。
- つみたて投資枠の口座数および残高についても、同様に新NISA制度による追い風を受け、2023年度は大きく増加致しました。今後も長期的なお客さまの資産形成に向け、積極的に取り組んでまいります。



3. お客さまへの情報提供

原則2・4・5・6・7

(1)お一人おひとりにあわせたわかりやすい説明

- ポートフォリオ分析ツール「Wealth Advisor」や、各種パンフレット等を活用して、投資経験がないお客さまや投資経験の浅いお客さまにもわかりやすく説明し、お客さまお一人おひとりのニーズやリスク許容度に応じた提案をおこないます。
- 複雑な機能を有する保険商品（外貨建て保険商品など）の販売にあたって、投資経験のないお客さまにはわかりやすい説明を心がけるとともに、ご高齢のお客さまに対してはご家族等の同席をお願いするなど、お客さまの投資経験やご認識状況に合わせてきめ細やかな対応をおこなっています。

🏠 トップページ / 📄 ファンド一覧 / ⓘ ファンド詳細
🔍 比較・組合せ
📄 注意事項

🌿 脱炭素ジャパン

運用会社：野村 スターレーティング ⓘ :-

🔍 相性の良いファンド
📊 リスク・リターン分析
🕒 過去の出来事
📈 積立チャート
📄 運用レポート

基準価額 チャート	基準価額（シミュレーション） 9,642 円（2022年09月20日時点）	お申し込み金額 1,000,000 円	うち手数料等 31,945 円
分配金履歴	お申し込み金額	概算金額 1,000,000 円	事前預時必要金額 1,000,000 円
評価情報 商品情報	購入 シミュレーション 1,000,000 <input type="text"/>	約定口数 1,003,998 口	約定金額 968,055 円
解約 シミュレーション	コース <input type="radio"/> 受取 <input checked="" type="radio"/> 再投資 購入時手数料 <input checked="" type="radio"/> 含める <input type="radio"/> 含めない 手数料を確認	概算金額を表示	
注意事項			

「Wealth Advisor 購入シミュレーション例」

3. お客さまへの情報提供

原則2・4・5・6・7

(2) 手数料に関する考え方

- 金融商品の販売にあたり、金融商品の対価とは別に手数料をいただく場合があります。また、保険商品のように、お客さまにご負担いただく費用とは別に、金融商品の提供会社から販売代理店手数料等を受け取る場合があります。
- こうした手数料は、例えば金融商品のご提供にあたって必要となる、商品の開発・選定、提案資料、各種報告書・相場情報資料等の作成・送付、アフターフォローまで含めたコンサルティングサービスのご提供、お取引の執行に係る事務、サービス品質の向上に向けた研修、お客さまに安心してご利用いただけるシステムや店舗等のインフラ整備といった、物件費・人件費等を総合的に勘案して設定しています。
- 合理化・効率化によるコスト抑制に努めつつ、ご負担いただく手数料に対して、お客さまに満足いただけるよう、サービスの品質向上に努めます。
- お客さまからいただく手数料やその他の費用に関しましては、契約締結前交付書面や目論見書等でご確認いただけるように努めており、金融商品のご提供に際して具体的な概算金額を提示する等、手数料について正しくご理解していただけるよう、わかりやすくご説明しています。

(3) アフターフォローに関する考え方

- お客さまに安心して運用商品をお持ちいただけるよう、きめ細かいアフターフォローをおこないます。
- 投資信託や生命保険商品など、運用商品をご購入いただいたお客さまに対しては、定期的なアフターフォローにプラスして、政治イベントや地政学リスク等により市場動向が大きく変動した場合はお客さまの不安を解消するために、適時適切にきめ細かいアフターフォローをおこないます。

(4) 金融教育

- 金融・経済に対する理解を深めていただくために、金融リテラシー向上を目的とした金融教室等を開催し地域社会との連携を深め、情報提供に努めてまいります。

4. 利益相反の適切な管理

原則3

- 「利益相反管理方針」に則り、お客さまの利益が不当に害されることのないよう適切に業務を遂行いたします。
- お客さまとの利益相反の可能性について検証・把握し、適切に管理してまいります。

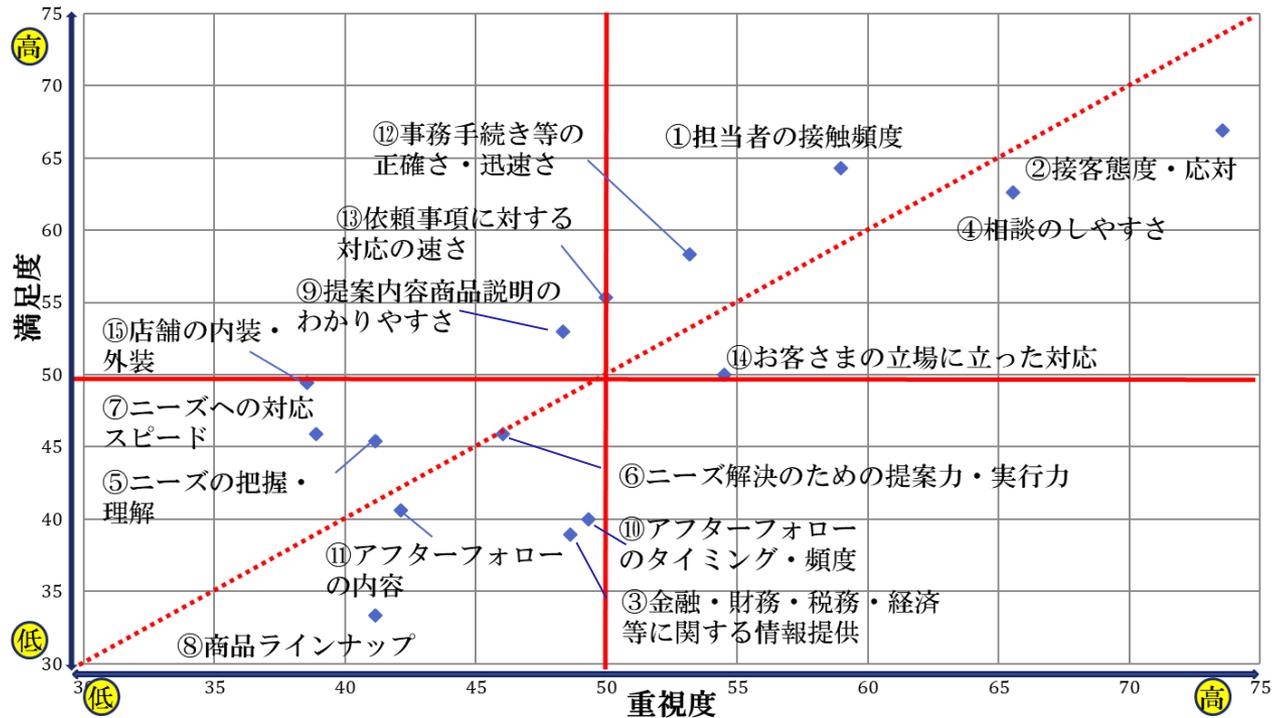
[神奈川銀行の「利益相反管理方針」の詳細は、こちらをご覧ください。](#)

5. お客様の満足度を優先する態勢の整備

原則6・7

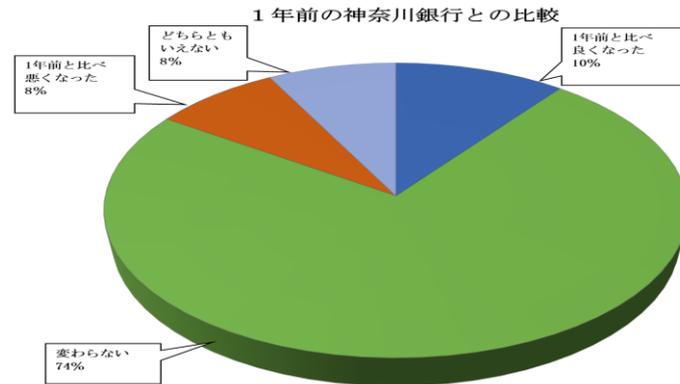
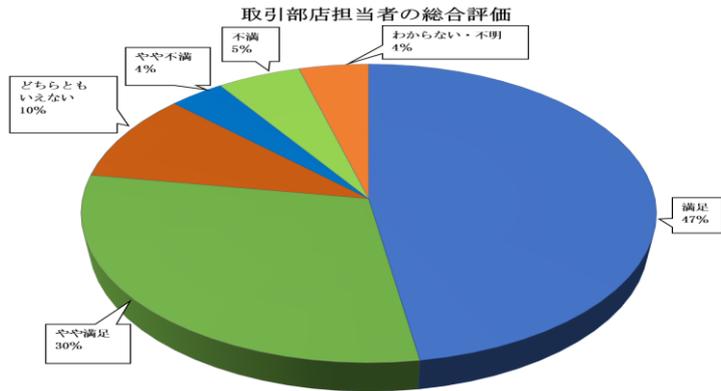
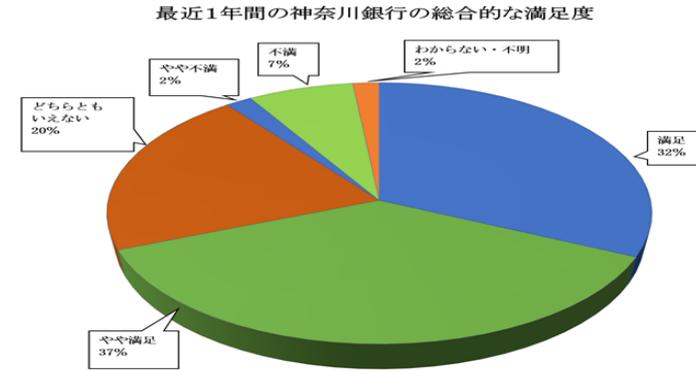
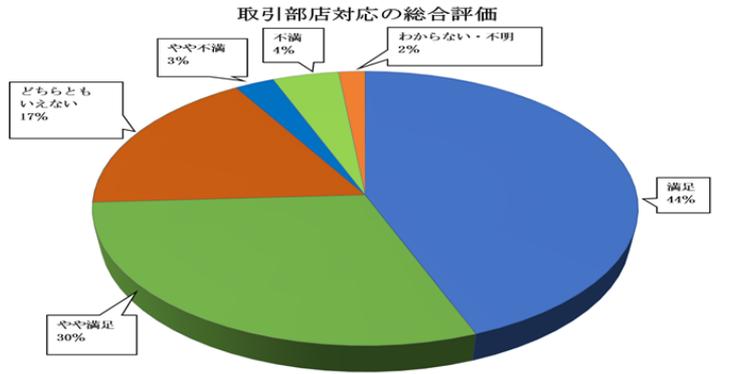
- お客様の満足度については、実施したアンケートをもとに分析をおこなっておりますが、満足度の低い部分については当行の課題と認識し、今後の活動によって改善につなげてまいります。
- お客様本位の業務運営に向けた体制維持向上のため、業績評価体系の見直しなどにより、従業員に対する意識づけをはかってまいります。
- 「最近1年間の神奈川銀行の総合的な満足度」については、69%のお客さまが「満足」または「やや満足」を選択いただいておりますが、いただいたお客さまの声を把握し、お客さま満足度の向上に努めてまいります。

○お客さまの期待する項目と満足度(各項目の偏差値)



5. お客様の満足度を優先する態勢の整備

原則6・7



○お客様の推奨度(0～10段階)

設問: 家族や友人から相談を受けた場合当行を薦めたいか

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
薦めたいと思わない							どちらともいえない		薦めたい	
1.7%	4.3%	0.0%	1.7%	0.0%	0.9%	1.7%	28.5%	23.3%	24.1%	13.8%
10.3%							51.8%		37.9%	

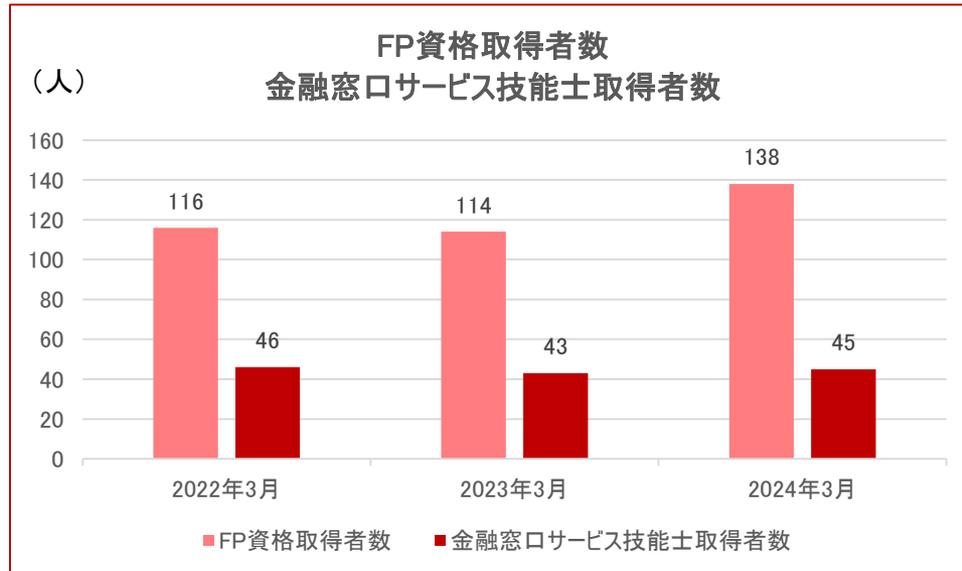
6. 人材の育成・確保

原則6・7

- 従業員向け研修・セミナーや資格取得の推奨等を通じて、高度な専門知識を有する人材の育成に取り組んでいます。2023年度は、FP資格取得者数は138人となり、前年度から24人増加いたしました。引き続き、今年度も行員の金融知識向上につながる施策の実現に努めてまいります。

資格の取得状況

FP資格取得者数	金融窓口サービス技能士取得者数
138名	45名



7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

投資信託の取扱い商品数

	商品数	割合
全商品	72	
毎月分配型	9	12.5%
バランス型	9	12.5%

投資信託の販売上位商品

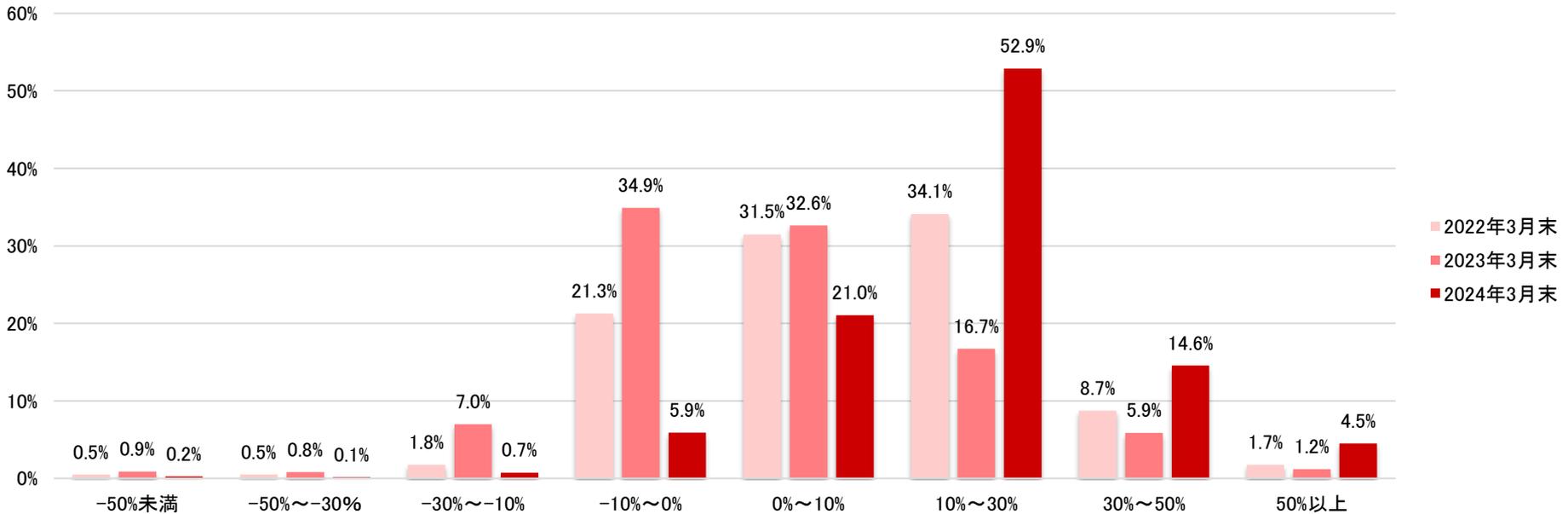
2021年度	商品名	運用会社
1位	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	日興アセットマネジメント株式会社
2位	米国連続増配成長株オープン(3か月決算型)【愛称:女神さま・オープン(3か月決算型)】	岡三アセットマネジメント株式会社
3位	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド【愛称:健次】	三菱UFJ国際投信株式会社
4位	新光US-REITオープン【愛称:ゼウス】	アセットマネジメントOne株式会社
5位	デジタル・トランスフォーメーション株式【愛称:ゼロ・コンタクト】	日興アセットマネジメント株式会社
2022年度	商品名	運用会社
1位	新光US-REITオープン【愛称:ゼウス】	アセットマネジメントOne株式会社
2位	NHAM米国高配当株式ファンド(毎月決算型)＜為替ヘッジなし＞【愛称:ゴールドルーキー】	アセットマネジメントOne株式会社
3位	東京海上・世界モノポリー戦略株式ファンド(毎月決算型)	東京海上アセットマネジメント株式会社
4位	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド【愛称:健次】	三菱UFJ国際投信株式会社
5位	NHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	アセットマネジメントOne株式会社
2023年度	商品名	運用会社
1位	米国株式配当貴族(年4回決算型)	野村アセットマネジメント株式会社
2位	東京海上・世界モノポリー戦略株式ファンド(毎月決算型)	東京海上アセットマネジメント株式会社
3位	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド【愛称:健次】	三菱UFJ国際投信株式会社
4位	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	日興アセットマネジメント株式会社
5位	新光US-REITオープン【愛称:ゼウス】	アセットマネジメントOne株式会社

7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

- 基準日時点で、運用損益がプラスとなったお客様の比率は、2022年末76.0% 2023年3月末56.4% 2024年3月末93.0%となりました。
- 運用損益の区別では「10%～30%」が52.9%と一番高い割合となりました。
- 多くのお客様の運用損益がプラスとなっておりますが、引き続きお客様への適切な情報提供やアフターフォロー活動を続けてまいります。

○投資信託の運用損益別顧客比率(2024年3月末)



基準日 各年3月末
 分子 基準日時点の評価金額+累計受取分配金額(税引き後)+累計売付金額-累計買付金額(含む消費税込の販売手数料)
 分母 基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外
 分母 基準日時点の評価金額

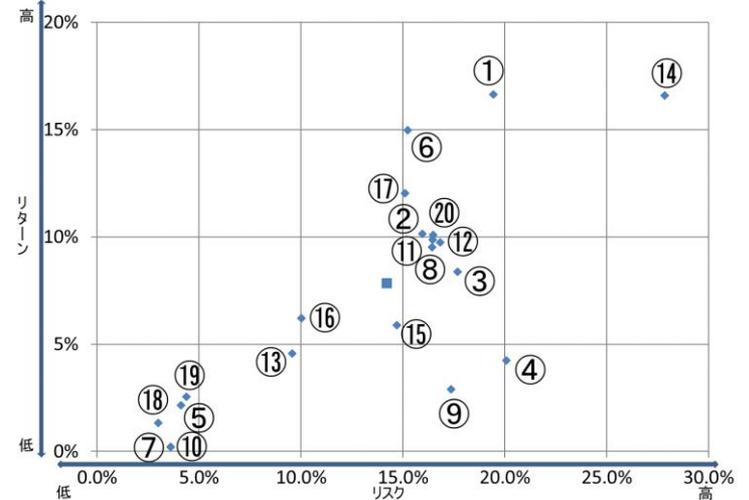
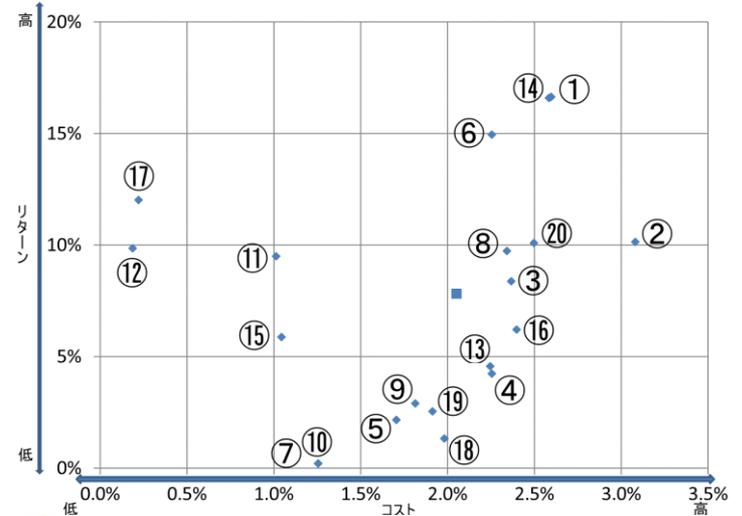
7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リスクとリターン(2021年度)

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
①	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.60%	19.45%	16.64%
②	グローバル・ヘルスケア&バイオファンド	3.08%	15.96%	10.14%
③	ジャパン・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.37%	17.69%	8.38%
④	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.26%	20.07%	4.24%
⑤	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	4.12%	2.16%
⑥	米国連続増配成長株オープン(3カ月決算型)	2.26%	15.23%	14.96%
⑦	東京海上円資産バランスファンド(毎月決算型)	1.25%	3.60%	0.21%
⑧	新光US-REITオープン	2.34%	16.83%	9.74%
⑨	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	1.82%	17.37%	2.89%
⑩	東京海上円資産バランスファンド(年1回決算型)	1.25%	3.60%	0.21%
⑪	インデックスファンド225	1.01%	16.44%	9.51%
⑫	たわらノーロード 日経225	0.19%	16.45%	9.86%
⑬	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	2.24%	9.58%	4.57%
⑭	グローバル・フィンテック株式ファンド	2.59%	27.84%	16.60%
⑮	MHAM J-REITインデックスファンド(毎月決算型)	1.05%	14.70%	5.89%
⑯	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.40%	10.02%	6.22%
⑰	たわらノーロード 先進国株式(H有)	0.22%	15.11%	12.03%
⑱	投資のソムリエ	1.98%	2.99%	1.32%
⑲	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.91%	4.37%	2.54%
⑳	ニッセイ・ワールドスポーツ・ファンドB(H無)	2.50%	16.50%	10.09%

残高加重平均(■) 2.05% 14.22% 7.83%

基準日 2022年3月末
 対象 2022年3月末時点で、設定期間5年を超えるファンド
 コスト 販売手数料/5+信託報酬
 リターン 過去5年間のトータルリターン(年率換算)
 リスク 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)



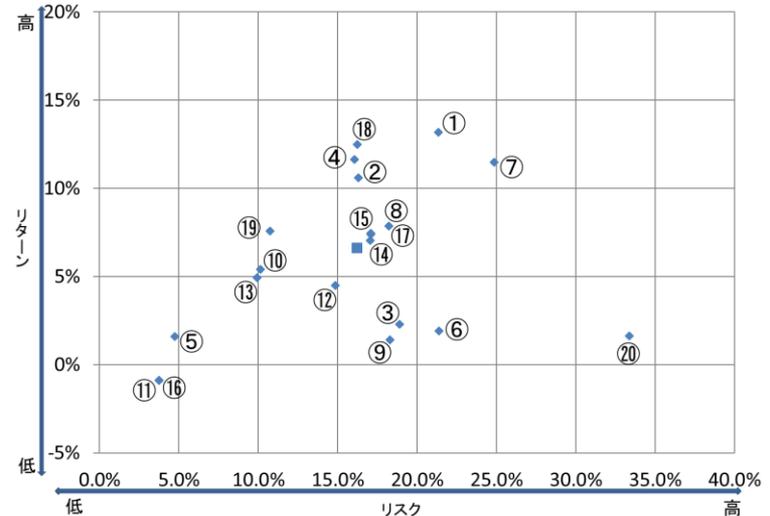
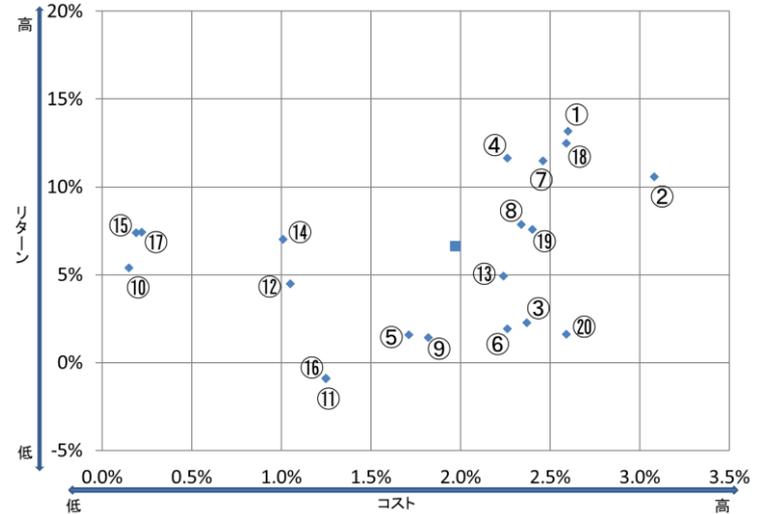
7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リスクとリターン(2022年度)

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
①	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.60%	21.36%	13.17%
②	グローバル・ヘルスケア&バイオファンド	3.08%	16.30%	10.59%
③	ジャパン・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.37%	18.88%	2.28%
④	米国連続増配成長株オープン(3カ月決算型)	2.26%	16.07%	11.64%
⑤	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	4.75%	1.60%
⑥	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.26%	21.39%	1.92%
⑦	次世代モビリティオープン	2.46%	24.85%	11.48%
⑧	新光US-REITオープン	2.34%	18.22%	7.87%
⑨	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	1.82%	18.29%	1.42%
⑩	たわらノーロード バランス(8資産均等型)	0.15%	10.14%	5.41%
⑪	東京海上円資産バランスファンド(毎月決算型)	1.25%	3.76%	-0.90%
⑫	MHAM J-REITインデックスファンド(毎月決算型)	1.05%	14.85%	4.48%
⑬	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	2.24%	9.93%	4.92%
⑭	インデックスファンド225	1.01%	17.06%	7.03%
⑮	たわらノーロード 日経225	0.19%	17.07%	7.40%
⑯	東京海上円資産バランスファンド(年1回決算型)	1.25%	3.76%	-0.89%
⑰	たわらノーロード 先進国株式(H有)	0.22%	17.10%	7.44%
⑱	米国高配当株式ファンド(年1回決算型)	2.59%	16.25%	12.48%
⑲	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.40%	10.72%	7.59%
⑳	グローバル・フィンテック株式ファンド	2.59%	33.37%	1.62%

残高加重平均(■)

基準日 2023年3月末
 対象 2023年3月末時点で、設定期間5年を超えるファンド
 コスト 販売手数料/5+信託報酬
 リターン 過去5年間のトータルリターン(年率換算)
 リスク 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)



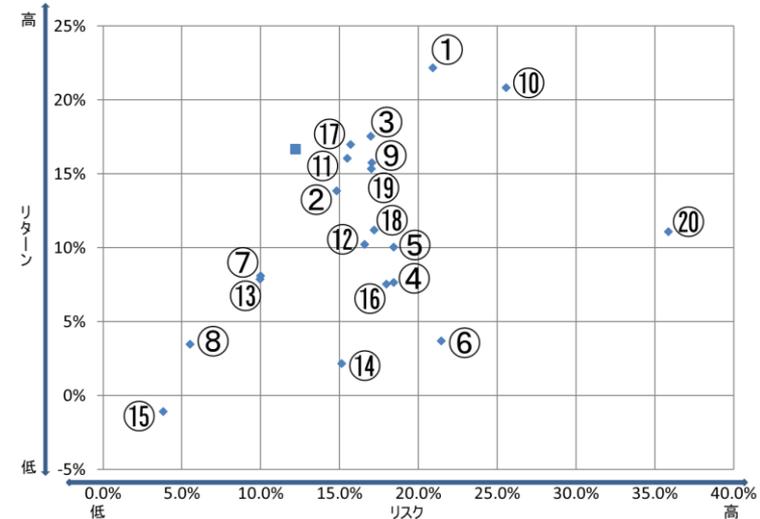
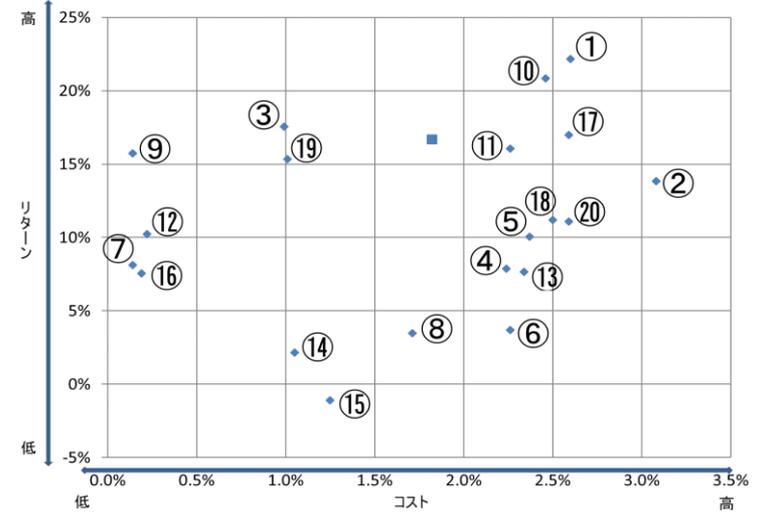
7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リスクとリターン(2023年度)

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
①	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.60%	20.90%	22.18%
②	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	14.82%	13.85%
③	米国株式配当貴族(年4回決算型)	0.99%	16.97%	17.54%
④	新光US-REITオープン	2.34%	18.42%	7.66%
⑤	ジャパン・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.37%	18.43%	10.04%
⑥	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.26%	21.46%	3.68%
⑦	たわらノーロードバランス(8資産均等型)	0.14%	10.00%	8.12%
⑧	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	5.52%	3.47%
⑨	たわらノーロード日経225	0.14%	17.03%	15.75%
⑩	次世代モビリティオープン(為替ヘッジなし)	2.46%	25.57%	20.84%
⑪	米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)	2.26%	15.47%	16.06%
⑫	たわらノーロード先進国株式(為替ヘッジあり)	0.22%	16.57%	10.23%
⑬	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	2.24%	9.94%	7.87%
⑭	MHAM J-REITインデックスファンド毎月決算型	1.05%	15.12%	2.16%
⑮	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	1.25%	3.81%	-1.10%
⑯	たわらノーロード新興国株式	0.19%	17.97%	7.56%
⑰	MHAM 米国好配当株式ファンド(毎月決算型)為替ヘッジなし	2.59%	15.70%	16.98%
⑱	ニッセイ・ワールドスポーツ・ファンドB(為替ヘッジなし)	2.50%	17.20%	11.20%
⑲	インデックスファンド225	1.01%	17.02%	15.33%
⑳	グローバル・フィンテック株式ファンド	2.59%	35.86%	11.09%

残高加重平均(■)	1.82%	12.19%	16.67%
-----------	-------	--------	--------

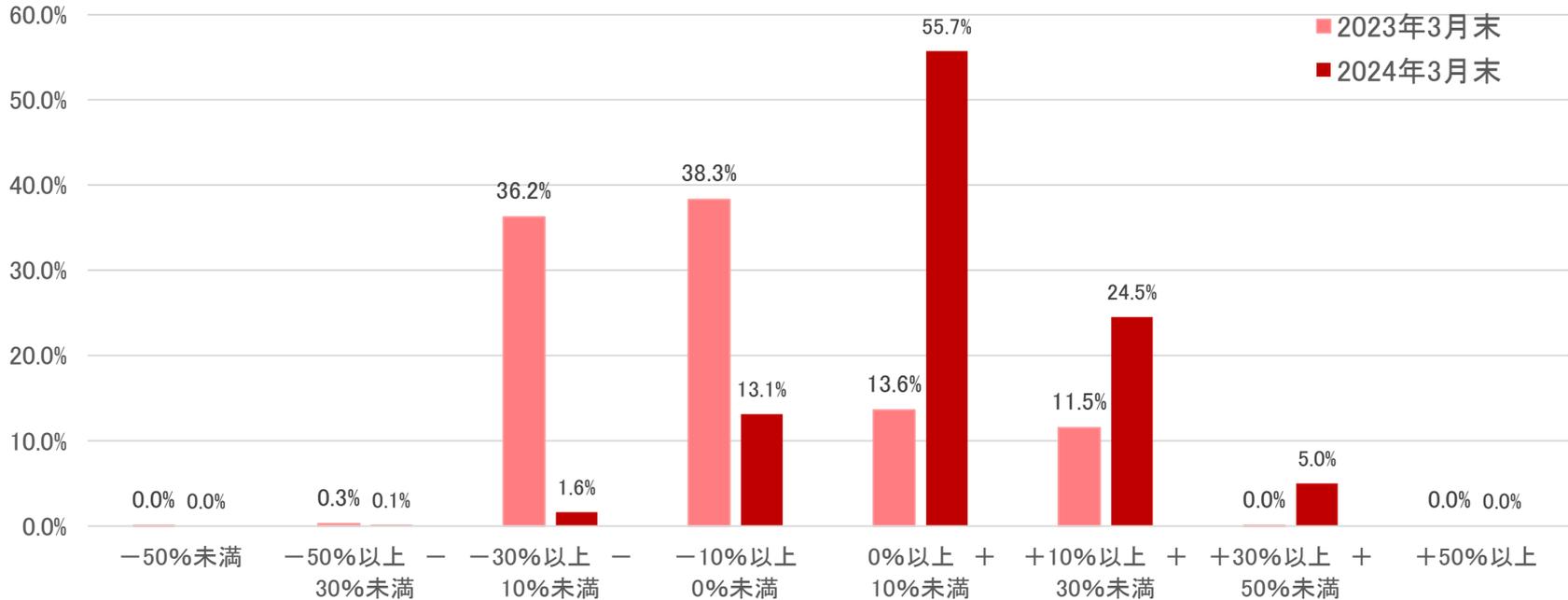
基準日 2024年3月末
 対象 2024年3月末時点で、設定期間5年を超えるファンド
 コスト 販売手数料/5+信託報酬
 リターン 過去5年間のトータルリターン(年率換算)
 リスク 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)



7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI

○外貨建保険の運用損益別顧客比率(2024年3月末)



【対象顧客】基準日時点で外貨建一時払保険を契約している個人のお客様

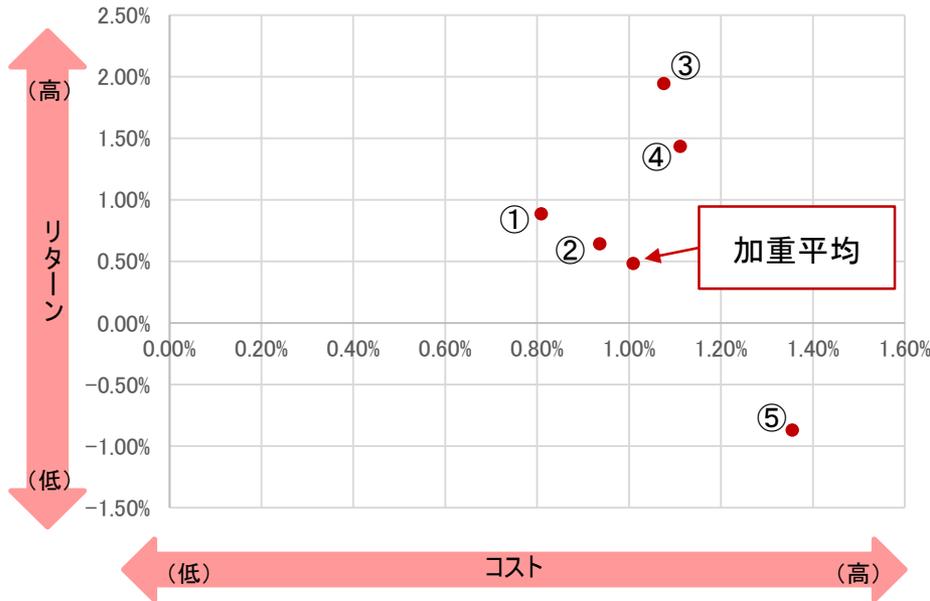
【対象契約】当行が保険募集を行った契約。ただし、基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約(据置期間の契約も含む)を除く

【運用評価計算】分子: 基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額) - 契約時点の一時払保険料(いずれも円換算)

分母: 契約時点の一時払保険料(円換算)

7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

外貨建保険の銘柄別のコスト・リターン(2023年3月末)



	銘柄名	コスト	リターン
①	デュアルドリーム	0.81%	0.89%
②	プレミアレシーブ(外貨建)	0.94%	0.64%
③	プレミアジャンプ・年金(外貨建)	1.08%	1.94%
④	プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	1.11%	1.43%
⑤	プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	1.36%	-0.87%
残高加重平均		1.01%	0.48%

【対象契約】当行が保険募集を行った契約で保険契約開始から60か月以上経過した契約。ただし、基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約(据置期間の契約も含む)を除く

【コスト】保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用し算出

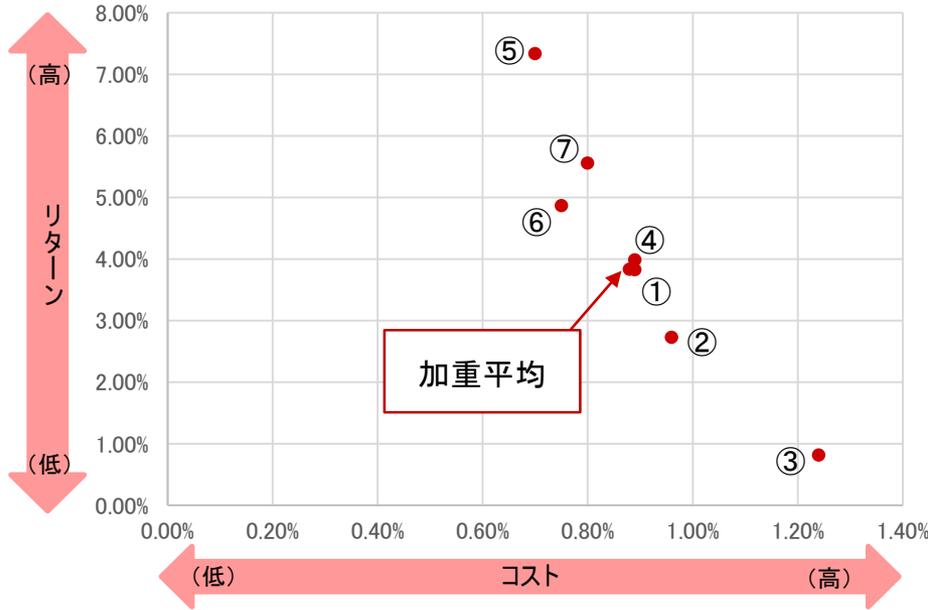
【リターン】(基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額-契約時点の一時払保険料)÷(契約時点の一時払保険料)を年率換算し、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均し算出

【保険商品としての特徴、保証性】

- ・外貨建保険は、保証と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約保険金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

外貨建保険の銘柄別のコスト・リターン(2024年3月末)



	銘柄名	コスト	リターン
①	プレミアシップ(外貨建)	0.88%	3.83%
②	プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	0.96%	2.73%
③	プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	1.24%	0.82%
④	プレミアプレゼント3	0.89%	3.99%
⑤	外貨建・エブリバディプラス(米ドル)	0.70%	7.34%
⑥	外貨建・エブリバディプラス(豪ドル)	0.75%	4.87%
⑦	ふるはーとJロードグローバルⅢ	0.80%	5.56%
残高加重平均		0.89%	3.83%

【対象契約】当行が保険募集を行った契約で保険契約開始から60か月以上経過した契約。ただし、基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約(据置期間の契約も含む)を除く

【コスト】保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用し算出

【リターン】(基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額-契約時点の一時払保険料)÷(契約時点の一時払保険料)を年率換算し、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均し算出

【保険商品としての特徴、保証性】

- ・外貨建保険は、保証と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約保険金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。
- ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

顧客本位の業務運営に関する原則と取組状況の対応関係

神奈川銀行は、お客さま本位の業務運営を実践するため、金融庁が2017年3月に公表した「顧客本位の業務運営に関する原則」(以下、「本原則」という)を採択し、取組方針を定め、その方針に対する取組状況を定期的に公表してまいります。なお、当行の取組方針の項目と本原則の対応状況は以下のとおりとなります。

当行の取組方針の項目	本原則
1. お客さまに寄りそった資産形成・運用の支援	原則2・5・6
2. 最適な投資型商品の提供	原則2・5・6
3. お客さまへの情報提供	原則2・4・5・6・7
4. 利益相反の適切な管理	原則3
5. お客さまの満足度を優先する態勢の整備	原則6・7
6. 人材の育成・確保	原則6・7